

## 東北学院組織図

本学では6学部16学科とすべての学部に対応する6つの研究科11専攻と専門職大学院を設置しております。また13の研究所と6つのセンター、中学校、高等学校2校、幼稚園の併設施設があります。学術研究を深めるための体制と教育に力を惜しみません。

### 学部



### 研究所

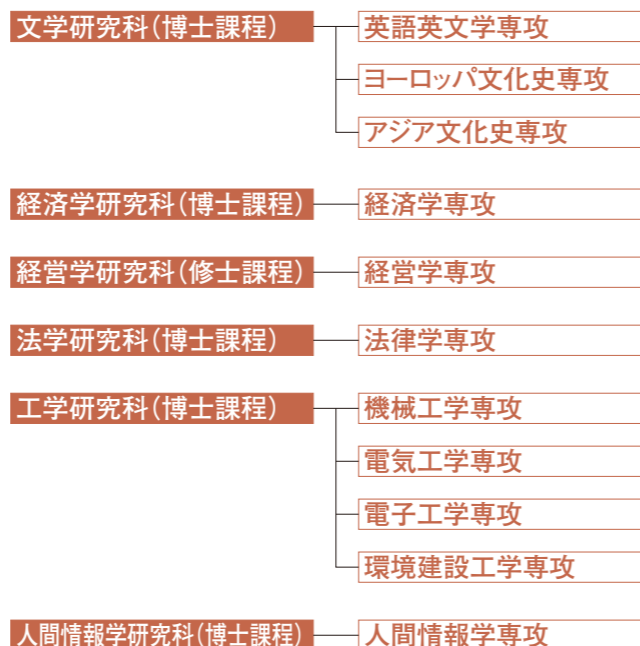
英語英文学研究所	経営研究所
キリスト教文化研究所	社会福祉研究所
ヨーロッパ文化総合研究所	法学政治学研究所
アジア流域文化研究所	教育研究所
宗教音楽研究所	工学総合研究所
東北文化研究所	人間情報学研究所
東北産業経済研究所	

### バイオテクノロジー・リサーチ・センター



21世紀の工学教育研究に必要とされるバイオテクノロジーの新しい学術研究領域を創出することを目指した研究施設です。

### 大学院



### センター

英語教育センター	情報処理センター
産学連携推進センター	教職課程センター
工学基礎教育センター	学生総合保健支援センター

### 東北学院同一法人組織

東北学院中学校・高等学校	東北学院幼稚園
東北学院榴ヶ岡高等学校	

### ハイテク・リサーチ・センター



私立大学学術研究高度化推進事業をすすめるための研究棟として設立。東北私学初の包括的なナノテクノロジー研究センターで、今後の活動に期待が寄せられています。

## 東北学院大学の沿革

### 1886年、仙台神学校を開校 創立133年の幕が開く

1885年、東北地方で熱心に伝道活動をしていた押川方義は、ドイツ改革派教会から日本に派遣されたW.E.ホーイと出会います。そして翌1886年、古い借家に「仙台神学校」という私塾を設立、わずか6名の伝道者志望の学生とともに、日本人の手による本格的なキリスト教布教が始まりました。ここに、130年に及ぶ東北学院の幕が開かれたのです。

初代院長には押川、副院長にはホーイが就任。翌年、第二代院長となるD.B.シュネーダーも夫妻で来日。1891年、仙台神学校は東北学院と改称され、伝道献身者以外にも普通・高等教育を施すようになります。1905年には普通科校舎が完成し、翌年には寄宿舎も落成。東北学院の母体とも言うべき仙台教会は1901年秋に壮麗な新会堂を建設し、東北伝道の中心的役割を果たします。



初代院長  
(1850~1928)  
押川方義

初代副院長  
(1858~1927)  
W.E.ホーイ

二代院長  
(1857~1938)  
D.B.シュネーダー

### 建学の精神「LIFE LIGHT LOVE」

1919年の仙台大火によって、中学校の校舎と寄宿舎が全焼。皆が悲嘆に暮れる中、シュネーダー院長は自ら先頭に立って奔走。その結果、3年後の1922年には新しい校舎を落成するに至りました。新校舎の正面に刻まれたのは「LIFE LIGHT LOVE」の文字。この3つの言葉は、その後も建学の精神のシンボルとして親しまれ、今日に至っています。1962年には工学部を新設し、1964年には文経学部を文学部と経済学部に分離し、その翌年には法学部を新設。こうして東北学院大学は、文・経済・法・工学部を擁する東北唯一の私立総合大学になったのです。さらに、これと前後して各学部大学院総合研究科を設置し、研究者養成体制を整備。1989年には、5番目の学部となる教養学部を設置。そして2009年には経済学部を改組。新・経済学部は経済学科と新設される共生社会経済学科の2学科に、従来の経営学科は独立して、本学6番目の学部・経営学部生まれ変わりました。また2011年にはキリスト教学科が、総合人文学科に、2018年には小中高の教育養成を目的とした教育学科が開設されました。18万人を超える卒業生を社会に送り出してきた東北学院大学。私たちは、卒業生を含めた人材資源とそのネットワーク力を生かし、これからも地域に根ざし地域に貢献する総合大学として、新時代をきり拓くことのできる人材の育成を目指していきます。



仙台神学校



東北学院同窓会

### 全国に広がる同窓会組織 全国87支部124TG会

東北学院同窓会は東北学院創立17年後の1903年に24名の同窓生によって結成され、今日では約18万人の同窓生を擁するまでに発展しました。現在、全国に87支部と124のTG会を組織し、会員相互の交流を深めて活動を行っています。支部、TG会の主な活動は、各地域での異業種交流や社内交流、もちろん就職活動の支援も行っています。